

1：適用規則については、2022年公認野球規則（軟式）及び大会規則を併用する。

2：試合はトーナメント方式7イニング制とする。

※第1回大会は12チームトーナメント戦（順位決定戦含む）にて行う。

※勝ち点制及び得失点差を採用して順位を決定する。

※同ポイントの場合は、対戦相手の順位により優劣をつけるが、優劣が決定出来ない場合はオンライン抽選方式とする。

- ・1点差での勝利 → 10ポイント。そこから得失点差が1点広がるごとにボーナス0.5ポイント加算。
- ・1点差での敗戦 → 0ポイント。得失点差が1点広がるごとにペナルティ0.5ポイントを減算。
- ・引分け → 両チームに1ポイントずつ加算。（決勝戦を除く）

3：決勝戦のみ特別延長ルール

※勝敗が決しない場合は抽選とする。

《特別延長ルール》

ノーアウト一、二塁・継続打順・一塁走者は前回の最終打者、二塁走者は順次前の打者とし、最大2イニングを行う。

勝敗が決しない場合は、大会進行状況を大会本部が判断し抽選とする。

規則により認められる選手交代は許されるが、代打・代走は正規の選手が一旦所定の位置に着いてから交代する。

《抽選》

試合終了時に守備についていた選手9人で行う。

4：試合開始後1時間30分を過ぎて新しいイニングには入らない。但し、1時間30分を経過したときリードしているチームが裏の攻撃中の場合は、次の回を最終回とする。（決勝戦を除く）

※試合開始後1時間30分以内で、7イニング同点の場合は引分けとする。

※優劣が決定出来ない場合はオンライン抽選方式とする。

5：本大会の登録選手人数は50名までとする。

但し、各試合の選手登録はメンバー表記載の20名までとするが、試合毎に選手登録を変更する事が出来る。

※1チームのメンバーは監督、コーチを除き、10名以上50名以内とする。

6：ダッグアウトは組み合わせ番号（記号）の若いチームが一塁側とする。

7：野球競技場は女子軟式野球サイズにて行い、グラウンドルールは各会場の指定するルールに従う。

※本塁から投手板までの距離は17mで行う。

※塁間の距離は25mで行う。

8：相手チームや審判員へのヤジを飛ばすなどの行為を禁止とする。

9：大会規約に違反した行為が発覚した場合は、審判員及び事務局の判断で失格とする場合もある。

10：危険防止の為に用具は必ず使用する。

※ ヘルメット、ファールカップ 等着用対象(打者・捕手・ボールガール・ベースコーチ・ブルペン捕手)

11：チームは試合開始の30分前までに、メンバー表（5枚）を大会本部に提出する。試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。

12：各試合会場のダッグアウトに入れれば人数は不問とする。

但し、グラウンドイン出来るのはユニホームを着た監督、コーチ及び選手とする。

※背番号の有無は不問とする。

※選手の為にサポート父母はダッグアウトに入る事が出来る。

13：本大会は特別指名打者（EDH）を採用する事が出来る。

《特別指名打者（EDH）に伴う特別ルール》

・ EDHを採用するチームは、チームのベンチ入りメンバーが11名以上である必要がある。

- ・ EDHは1人まで出場出来る。打順は自由に選ぶことが出来る攻撃のみの選手。
- ・ EDHの選手に代打、代走を送ることが出来る。
- ・ EDHの選手も途中から守備につくことが出来る。その時の打順は変わらずに攻撃にも参加出来る選手となる。
- ・ EDHの選手が守備についている選手と交代して守備につく場合、守備についていた選手は、攻撃のみとなるか、控えの選手がEDHとして出場する。但し打順は変わらない。
- ・ 試合開始前にEDHを採用するか、採用しないかを申請する。EDHを申請したチームは、試合終了までEDHを採用しなければならない。尚、試合の途中からEDHの採用は出来ない。

14：本大会はリエントリー（再出場）する事が出来る。

- ・ スタートティングプレイヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場する事が出来る。
- ・ 再出場する場合には、自己の元の打順を引き継いだプレイヤーと交代しなければならない。
- ・ 違反し相手チームからアピールがあると、「再出場違反」となり、違反した選手は再出場する事が出来ない。
- ・ EDHスタートティングプレイヤー の選手もリエントリーに含まれる。

15：ベースコーチは選手が行うこと。（監督、コーチによるベースコーチを認めない）

16：1日における試合の投球数は100球以内とする。

但し、打者と対戦途中で制限投球数に達したときはその打席が完了するか、打席中に攻守交代になるまで続投できる。

17：申告敬遠の適用はしない。